

一般社団法人日本認知症ケア学会  
第1回新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止等に関する  
アンケート結果（速報）

本調査は、標記 COVID-19（以下、感染症）拡大により発生した問題・課題および取り組み（対応）状況等を把握し、日々感染拡大防止に努められている関係者の方々への情報提供、本学会の対応を検討するための資料作りを目的とし、標記アンケートを実施いたしました。その結果を次のとおり報告させていただきます。

**【調査結果の概要】**

60 機関に対して調査を行い、17 機関より回答をいただきました。種別は入所系施設や通所系施設、病院、教育機関などであり、半数以上が入所系施設でした。

感染予防対策の問題点と課題については、面会制限によるストレスや行動制限の問題、利用者のマスク着用拒否、受け入れ病院の確保、出勤制限によるスタッフ不足の問題など多岐にわたっていました。

感染予防の取り組みとしては、施設等の消毒の徹底、マスクやフェイスシールド着用、換気の徹底、ゾーニングやテーブル配置の工夫など環境面での工夫の他、外部の人の出入り制限、電話による面会や窓越し面会、オンライン面会の実施、職員の健康管理と行動制限、会議の簡素化やオンライン会議など様々な工夫が行われていました。

またマスクの着用義務は4分の3以上が流行前～3月上旬までには行っており、アルコール消毒薬の設置は8割以上が流行前から行われていました。スタッフの体温測定は流行前から実施は7%でしたが、4分の3は3月までには実施するようになっていました。面会制限は半数以上が2月下旬までには実施していますが、ゾーン分けを実施しているのは約半数という結果でした。

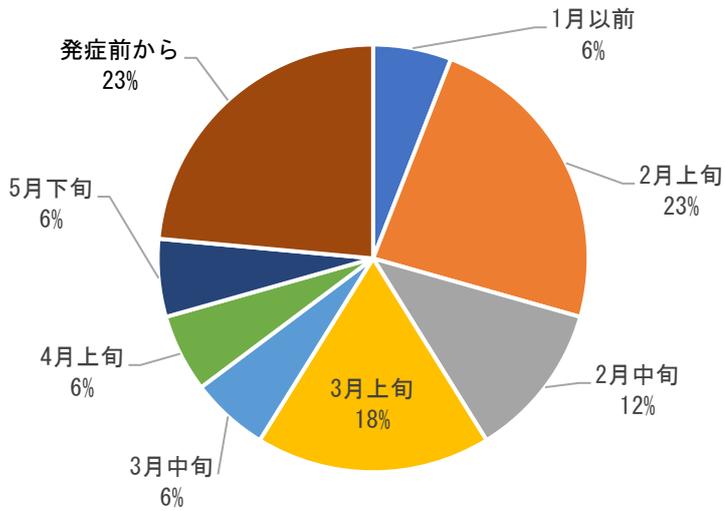
**【調査結果】**

- I. 実施期間：2020年6月4日20:00～6月12日16:00
- II. 対象者：60機関（認知症ケア専門士会（27団体）・学会認定機関（33機関））
- III. 調査方法：WEB調査（グーグルフォーム利用）／E-mailによるアンケート協力依頼
- IV. 回答（率）：17機関（28.3%）

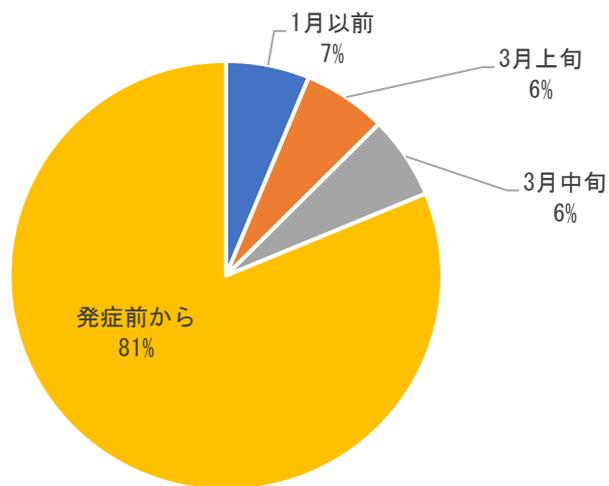
- ・ 日常的な健康管理
- ・ 感染発生時の対応可能職員の確保
- ・ 立ち入り業者に対する検温実施

E. 以下の対応をいつ頃から実施したかについて教えてください

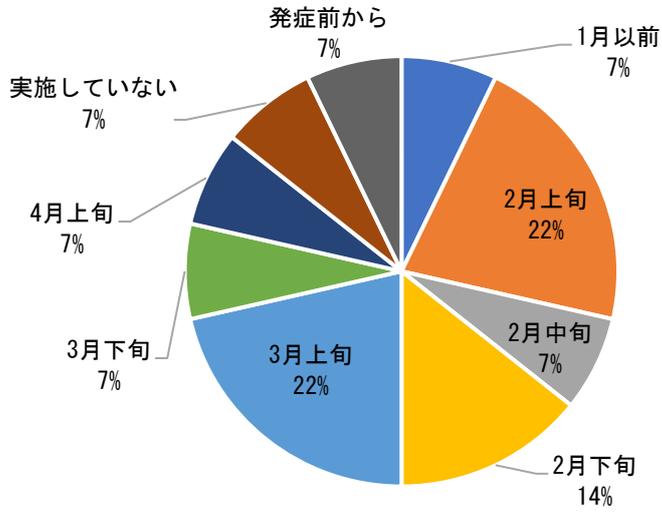
E-1. マスク着用義務



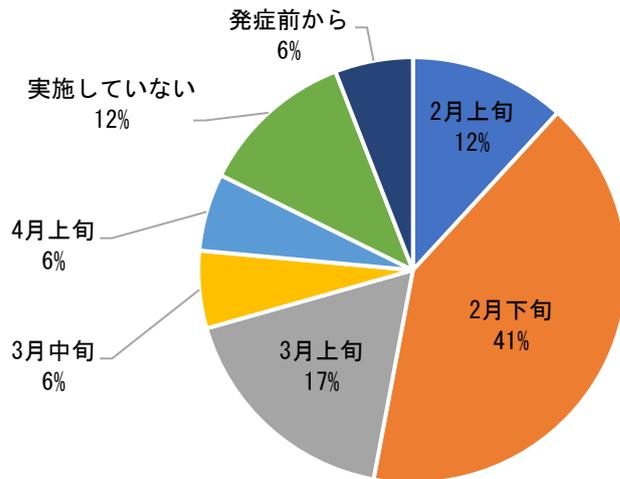
E-2. アルコールの設置



E-3. スタッフの体温測定（検温）



E-4. 面会制限



E-5. 新型コロナ感染者・非感染者のゾーン分け

